

各 位

2024年2月9日

会社名 株式会社 ジャノメ
 代表者名 代表取締役社長 齋藤 真
 (コード: 6445 東証プライム)
 問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長
 土井 仁
 (TEL 042-661-3071)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年5月12日に公表した2024年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期の連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	40,000	2,500	2,500	1,500	77円59銭
今回修正予想 (B)	36,000	1,500	1,200	500	26円37銭
増減額 (B-A)	△4,000	△1,000	△1,300	△1,000	△51円22銭
増減率 (%)	△10.0%	△40.0%	△52.0%	△66.7%	△66.0%
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	38,571	2,120	2,400	△393	—

2. 修正の理由

家庭用機器事業におきましては、国内外で新機種を投入し製品自体は高評価を得られたものの、第3四半期の実績は当初予定していた水準を下回り、販売は伸び悩みました。ロシア・ウクライナ情勢や緊迫する中東情勢、また国内市場においては円安の定着による原価高など、厳しい市場環境が続くものと予想しております。中高級機種の販売比率が高い北米・欧州・豪州地域の業績の伸びが想定を下回る中、機種構成の変化により利益率は期初の想定に比べ低下する見込みです。

産業機器事業につきましては、一部地域で設備投資需要の回復基調も見られる中、国内最大規模の展示会へ出展するなどして様々な業種で引き合いをいただくなど、受注獲得に向けた活動を強化してまいりましたが、最大市場である中国の需要回復の遅れを挽回するに至らず、厳しい状況が継続しております。

また、2023年3月期に実施した訪問販売事業からの撤退に伴う事業再編費用の一部が当期に繰越されたことが、経常利益の押し下げ要因となりました。

このような状況を踏まえ、通期の業績予想を上記のとおり、修正いたしました。

なお、期末配当予想の変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表当日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、

今後様々な要因によって、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上